

宗谷本線を活かした鉄道観光まちづくり先進2町村が連携

自治体主体のJR宗谷本線プロモーション、 鉄道観光利活用に向け、本州私鉄でのPR展開へ

JR宗谷本線（稚内～幌延～音威子府～旭川間）沿線で、特に鉄道資源の利活用に取り組む、音威子府村（上川管内）および幌延町（宗谷管内）により組織される「宗谷本線マイレール意識向上事業実行委員会」は、鉄道利活用に向けた取り組みの一つとして、本州私鉄の「伊豆急行株式会社（以下、「伊豆急」と表記）」（本社：静岡県伊東市）車内中吊りスペースなどでの宗谷本線プロモーションポスターの掲示を、3月15日より開始する。

同実行委員会が作成したポスターは2種類（B3サイズ）、宗谷本線PRをはじめ、北海道内の鉄道利用の促進、また両町村をPRする内容となっている。

ポスターは、伊豆急で運行される車両のうち13編成（伊豆急下田～JR熱海間）の中吊りスペースをはじめ、伊豆急の各駅に掲示される。掲示は1ヶ月間。

同実行委員会では、沿線地域住民のマイレール意識向上を目指し、住民向けワークショップなどを実施しており、次への展開として宗谷本線沿線地域のプロモーションができる観光列車のモニター運行などを検討している。宗谷本線では、2019年にJR東日本所有のびゅうコースター風っこ車両等による観光列車「風っこそうや号」が運行され、沿線地域でのおもてなしの取り組みや、観光列車による新たな賑わいが生まれたことから、同実行委員会では「観光列車」を一つの手段として着目をし、さまざまな可能性を模索している。



〔宗谷本線をはじめ、道内の鉄道や地域をPRするポスター〕

伊豆急は、伊豆特産の金目鯛をPRする地域プロモーション列車「キンメ電車」をはじめ、沿線地域資源を活かした観光列車などを多数企画している。

同実行委員会は、伊豆急での地域プロモーション列車の取り組みに着目し、これからの宗谷本線自体や沿線の魅力を活かしていく上で参考となること、また伊豆急を利用するお客様をはじめ、道外の鉄道事業者や旅行会社なども含む多くの皆さまに向けて、宗谷本線沿線地域や北海道の鉄道を広くプロモーションすることにより、将来的な宗谷本線への誘客の可能性へとつなげたいとの思いから、伊豆急線内でのポスター掲示を実施した。

また合わせて、同実行委員会事業で3月14日（日）に開催する、「宗谷本線の未来を語る合同ワークショップ（会場：幌延町）」では、株式会社伊豆急ケーブルネットワーク代表取締役社長の比企恒裕氏（前：伊豆急行株式会社取締役企画部長）を招き、地域プロモーション列車に関する基調講演を予定。3月4・5日に実施した、各町村でのキハ261はまなす編成試乗およびワークショップでの話題をもとに、地域住民主体の宗谷線利活用アイデア共有のワークショップを行う。

今後は、今回のプロモーションや3月14日のワークショップでの内容をもとに、引き続き同実行委員会にて宗谷本線利活用に向けた取り組みを行う予定。2町村間の連携促進にとどまらず、宗谷本線全体のマイルール意識向上、最北の鉄道としての鉄道観光、観光列車を手段とした利活用検討など、前例のない積極的な利活用検討を進めたいと考えている。



〔伊豆急でのポスター掲示箇所のイメージ写真〕

お問い合わせ先
宗谷本線マイルール意識向上事業実行委員会
（事務局：北海道音威子府村役場総務課地域振興室 01656-5-3311）